

ひとつまみの幸せ。



2026年 3 月期第 1 四半期
決算補足説明資料

株式会社 なとり

- 決算ハイライト
- 食品製造販売事業
製品群（ジャンル）別 売上高
- 株主還元（株主優待、配当予想）
- SDGsへの取り組み
- マーケティングコミュニケーションの取り組み
- 参考資料

< 連結 > 2026年度 3 月期第 1 四半期業績 サマリー

売上高 120.5億円 (対前期 + 3.0億円)
 営業損失 0.9億円 (対前期 △5.9億円)
 当期純損失 ※ 0.1億円 (対前期 △3.8億円)

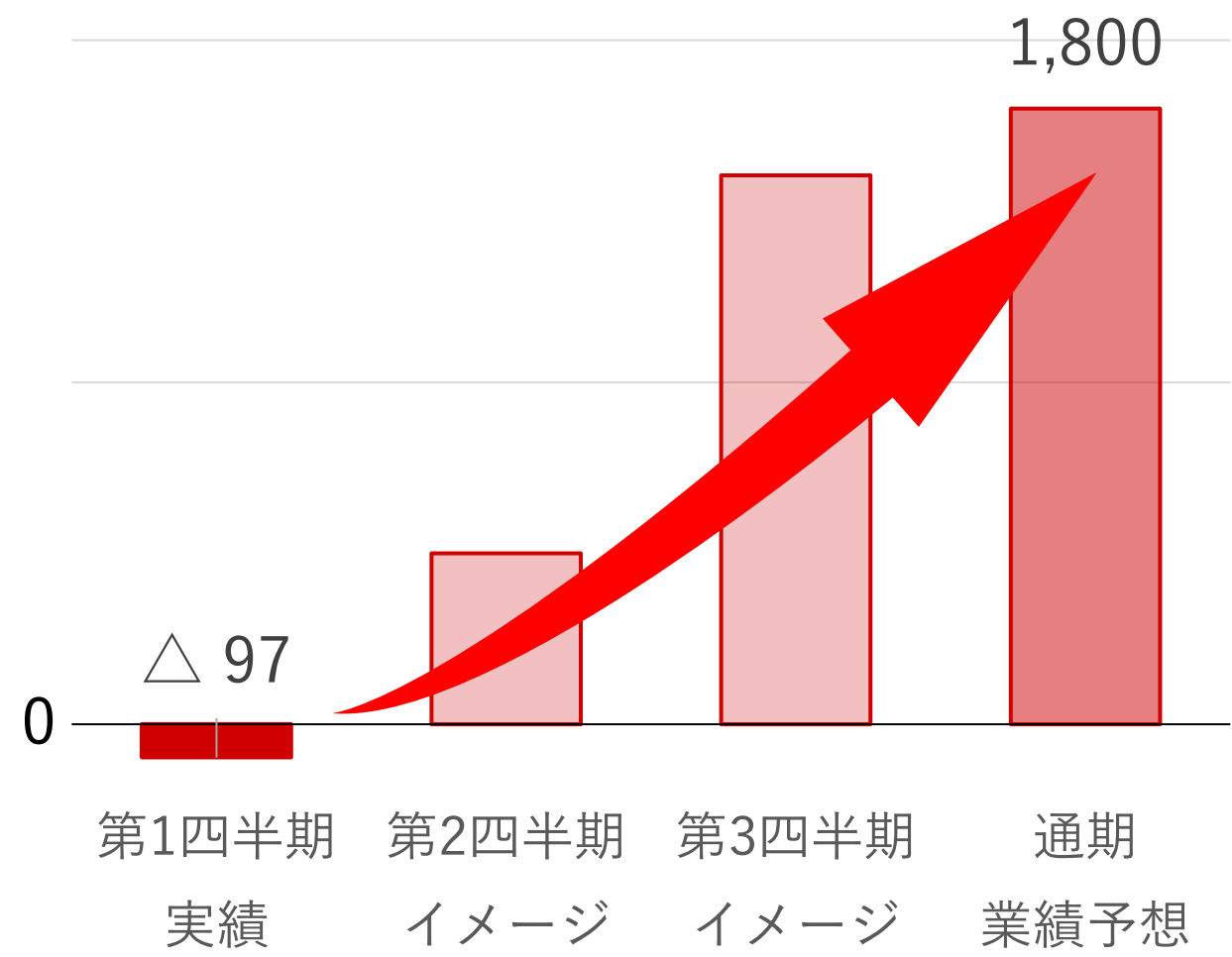
(単位：百万円)	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	増減額	増減率
売上高	11,753	12,058	+304	+2.6%
食品製造販売事業	11,646	11,950	+304	+2.6%
不動産賃貸事業	107	107	+0	+0.2%
営業利益 又は 損失 (△)	501	△97	△599	—
営業利益率	4.3%	△0.8%	△5.1pt	—
食品製造販売事業	422	△178	△600	—
不動産賃貸事業	79	80	+1	+1.8%
経常利益 又は 損失 (△)	538	△73	△612	—
当期純利益 又は 純損失 (△) ※	366	△14	△381	—

※親会社株主に帰属する四半期純利益 又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)

- < 売上面 > 増収
- お酒のおつまみ用途だけでなくおやつ需要にも適した新製品の導入と市場定着を図りながら、主力製品の販売促進策等に引き続き取り組み増収となりました。
- < 利益面 > 減益 (赤字)
- 2025年 6 月より段階的に一部製品 (いか製品・揚物製品等) の価格改定等の取組みとともにコストコントロールの徹底、売上増、プロダクトミックスの改善等の諸施策を講じましたが、いか原料を中心とする原材料価格の高騰の影響を吸収するまでには至らず減益となりました。

<連結> 2026年度 3 月期 業績見通し (営業利益)

(単位：百万円)



- 2025年 6 月より開始した「一部製品の価格改定及び内容量変更」による増益効果は2025年 7 月以降に期待されますので、当第 1 四半期連結累計期間の赤字は早期に解消される見通しです。
- このため、当連結会計年度の通期業績予想につきましては、2025 年 5 月 9 日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。
- 引き続き、全社をあげたコストコントロールを徹底すると同時に、原材料価格の動向、その他様々なコスト増加要因をしっかりと見定めながら、価格改定及び内容量変更の効果浸透をはじめとする利益確保のための諸施策に取組み、通期業績予想の達成を目指してまいります。

食品製造販売事業 製品群（ジャンル）別 売上高

(単位：百万円)		2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	増減額	増減率
食品製造販売事業	水産加工製品	4,937	5,182	+244	+5.0%
	畜肉加工製品	2,084	2,071	△13	△0.6%
	酪農加工製品	2,065	2,133	+68	+3.3%
	農産加工製品	522	589	+66	+12.7%
	素材菓子製品	670	724	+53	+8.0%
	チルド製品	474	480	+6	+1.4%
	その他製品	891	769	△122	△13.7%
	計	11,646	11,950	+304	+2.6%

食品製造販売事業 製品群（ジャンル）別 売上高

水産加工製品

5,182 前期比 +5.0%
百万円

©臼井儀人／双葉社・シンエイ・
テレビ朝日・ADK



期間限定パッケージ
チーズ in かまぼこ



たんぱく質を含む製品に
独自のマークを掲載しています



お徳用
味付焼きかまぼこ



いかフライ



いかフライ
ピリ辛味



するめスティック



いかそうめん

- 「映画クレヨンしんちゃん」とコラボした期間限定パッケージも発売した「チーズinかまぼこ」や、魚のすり身を薄く伸ばしふんわりと焼き上げた「お徳用 味付焼きかまぼこ」、いかの姿フライ、するめスティック、いかの耳の部分に味付けし細くカットした「いかそうめん」などが売上を伸ばし、増収となりました。

食品製造販売事業 製品群（ジャンル）別 売上高

畜肉加工製品

2,071 前期比 △0.6%
百万円



18本入り
ペンシルカルパス



期間限定品
THEおつまみBEEF
厚切ビーフジャーキー
黄金の味 中辛風味

- 1本1本個包装された便利な小分けタイプの「18本入りペンシルカルパス」や、エバラ食品工業とコラボした期間限定の新製品「THEおつまみBEEF 厚切ビーフジャーキー 黄金の味 中辛風味」などが伸長しましたが、微減収となりました。

酪農加工製品

2,133 前期比 +3.3%
百万円



チータラ® お徳用



期間限定品 チータラ®
こんがり焼きとうもろこし風味

- チータラズ® のイラストを入れるデザインリニューアルと増量キャンペーンを実施した「チータラ® お徳用」シリーズや、SNSのお客様投票で作った期間限定品「チータラ®.こんがり焼きとうもろこし風味」などの チーズ鱈® 製品が売上を伸ばし、増収となりました。

食品製造販売事業 製品群（ジャンル）別 売上高

農産加工製品

589 前期比 +12.7%
百万円



JOLLY PACK
柿ピー



JOLLY PACK
バタピー



JOLLY PACK
つぶ餅ピーナッツ

- 食べきりサイズのナッツ製品
「JOLLY PACK」シリーズなどの売上が伸長し、増収となりました。

素材菓子製品

724 前期比 +8.0%
百万円



甘ずっぱいカリカリ梅
種ぬき



梅ぼしシート

- 汗をかいたときに失われる塩分や電解質を手軽に補給できる「甘ずっぱいカリカリ梅 種ぬき」や、梅のすっぱさとほどよい甘みが楽しめる「梅ぼしシート」などが売上を伸ばし、増収となりました。

食品製造販売事業 製品群（ジャンル）別 売上高

チルド製品

480 前期比 +1.4%
百万円

【要冷蔵】



なめらか チーダラ® シリーズ

- チルドならではのなめらかな口どけが特長の「なめらか チーダラ®」シリーズなどのチルドタイプの「チーダラ」製品が好調に推移し、増収となりました。

その他製品

769 前期比 △13.7%
百万円

【アソート】



おつまみセレクション

【レトルト】

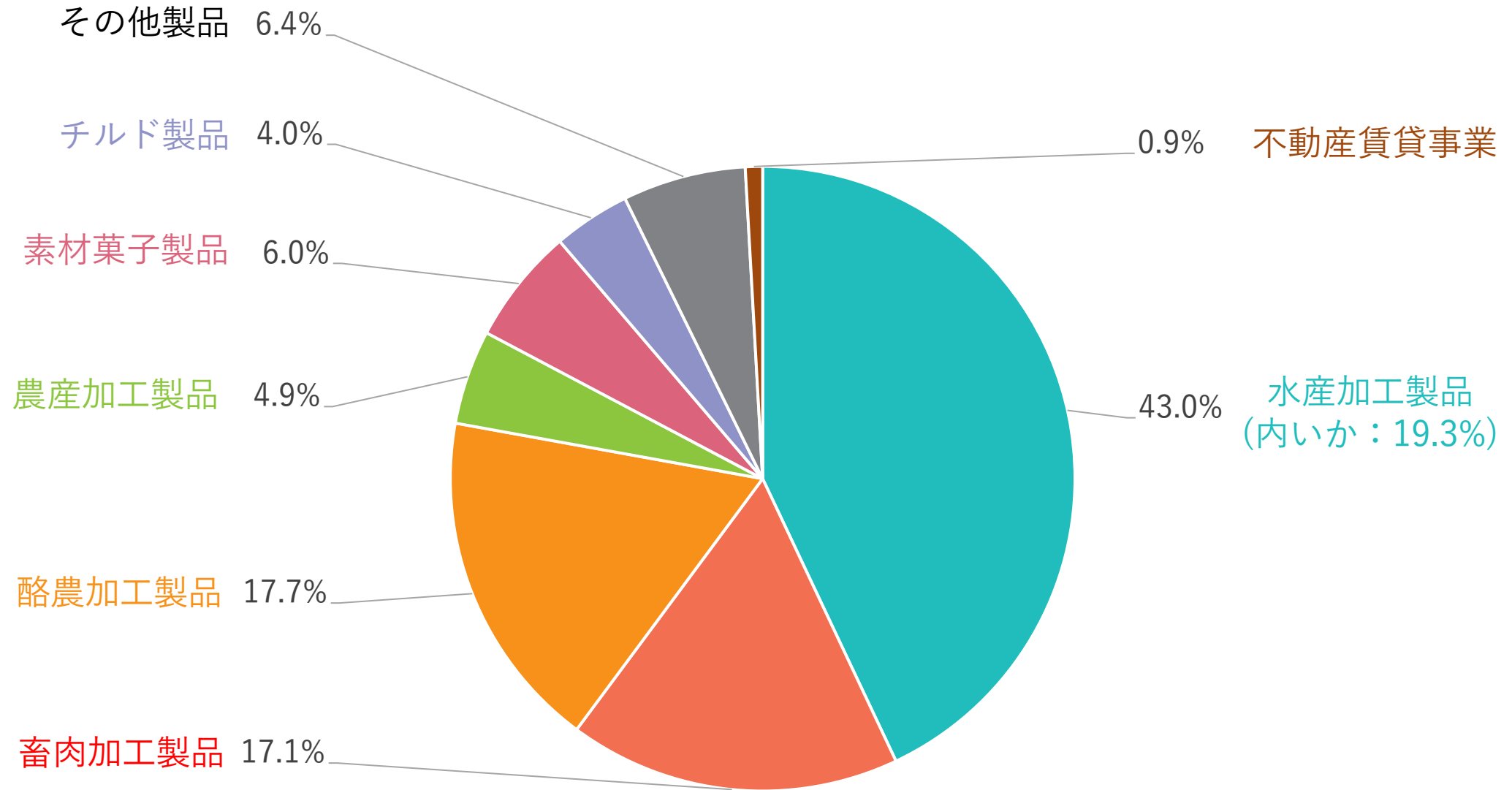


国産
うずらの味付たまご

- アソート製品などの売上が減少し、減収となりました。

食品製造販売事業 製品群（ジャンル）別 売上高

（ご参考）連結売上高構成比率



株主還元 (株主優待制度・配当予想)

株主優待制度

優待内容

所有株式数	優待品	備考
100株以上 500株未満	2,500円相当（市価）の 当社製品詰め合わせセット	
500株以上 1,000株未満	3,000円相当（市価）の 当社製品詰め合わせセット	2025年 新設
1,000株以上 3,000株未満	3,500円相当（市価）の 当社製品詰め合わせセット	
3,000株以上	4,500円相当（市価）の 当社製品詰め合わせセット	

対象

当社株式を100株以上保有し、3月31日現在の株主名簿に記載された株主様。

お届け時期

6月下旬より発送を開始、7月上旬頃までにお届けします。

【2025年度実績】
100株以上500株未満











※画像は2025年度にお届けした2,500円相当の株主優待品です。
※優待品の内容は毎年変更いたします。

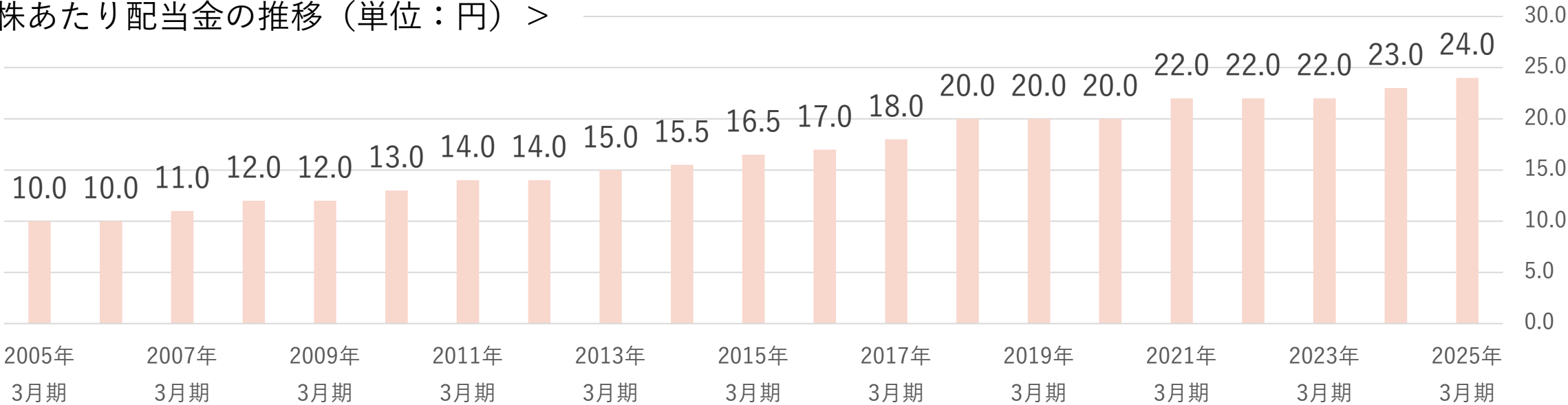
2026年 3 月期 配当予想 (創業88周年記念配当)

< 2026年3月期 配当予想 >

- 第 2 四半期末12円、期末12円に、創業88周年記念配当（第 2 四半期末 1 円、期末 1 円）を加え、年間配当26円（前期比 2 円増配）を予定。

		1 株当たり年間配当金		
		第 2 四半期末配当	期末配当	合 計
2026年 3 月期（予想）		13.0円	13.0円	26.0円
	普通配当	12.0円	12.0円	24.0円
	創業88周年記念配当	1.0円	1.0円	2.0円

< 1 株あたり配当金の推移（単位：円） >



SDGsへの取り組み

グループ会社

メイホク食品にて太陽光発電設備が稼働

- グループ会社であるメイホク食品に太陽光発電設備を設置し、2025年4月1日より発電を開始しました。発電した電気は、メイホク食品で使用しています。
- 年間あたり約170tもの二酸化炭素の排出量を削減できる見込みです。既に稼働を開始している埼玉第二工場、函館なとりと合わせると年間約690t、一般家庭が1年間に排出する二酸化炭素排出量に換算して240世帯分に相当します。



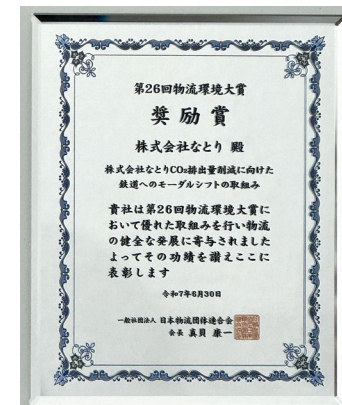
工場屋根に818枚の太陽光パネルを設置

物流環境大賞の奨励賞を受賞

- 当社と佐川急便(株)、大宮通運(株)、日本貨物鉄道(株)の共同による「二酸化炭素排出量削減に向けた鉄道へのモーダルシフトの取り組み」が一般社団法人日本物流団体連合会主催の「第26回物流環境大賞」の奨励賞を受賞しました。
- 首都圏エリアから九州方面へのトラック輸送を鉄道輸送に変更すること等で二酸化炭素の排出量を削減している取り組みが評価されました。



2025年6月30日表彰式にて



表彰式にていただいた盾

マーケティングコミュニケーションの取り組み 「なとりファン拡大」

「チータラ」と「クックパー」との 共同プロモーションを実施しました

- 「チータラ」の普及を目的にX（旧Twitter）にて、共同でプロモーションを実施しました。
- 人気レシピ「レンチンチータラ」を作るときにあると便利なクッキングシートの売上No.1である「クックパー」（旭化成ホームプロダクツ）と、父の日におすすめなレシピとして「レンチンチータラ」を提案する投稿を行いました。



当社アカウントの
2025/6/13投稿

地元・東京都北区のバスケットボール イベントで「JUST PACKひとくちいか天」を 無料配布しました

- 2025年7月6日、東洋大学赤羽台キャンパス HELSPOアリーナにて開催されたバスケットボールのイベント「THE NORTH TOKYO DERBY 2025」の会場で、「JUST PACKひとくちいか天」を無料配布しました。
- 当社を知っていただくとともに、地元の東京都北区を盛り上げることを目的に実施しました。



JUST PACK
ひとくちいか天

白熱した戦いが
繰り広げられました



SNSでお客様と一緒に商品を作りました！

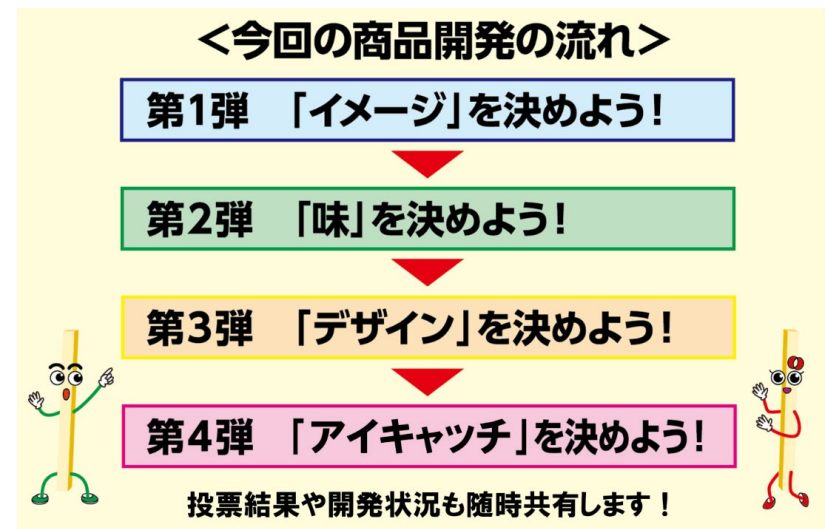
「チータラ®. こんがり焼きとうもろこし風味」 発売



- 当社初の試みとして、2024年夏から企画がスタートし、X（旧Twitter）の投票機能を使って、「イメージ」「味」「デザイン」「アイキャッチ」の計4回に渡って投票を募り、今回の商品ができました。
- 夏にぴったりの期間限定「チータラ」ができあがりました！

（発売期間：2025年6月～9月）

チータラ®
こんがり焼きとうもろこし風味



期間限定「チーズinかまぼこ クレヨンしんちゃんパッケージ」発売



- 2024年に販売したコラボレーションした期間限定パッケージがご好評をいただき、今回の第2弾が実現しました。
- 今回は、2025年8月公開予定の『映画クレヨンしんちゃん 超華麗！灼熱のカスカベダンサーズ』とのコラボです。

(発売期間：2025年6月～7月)

©臼井儀人／双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK 2025

【参考資料】

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）	2025年3月期 期末	2026年3月期 第1四半期末	増減額
資産合計	41,572	41,865	+292
流動資産	20,975	21,261	+286
固定資産	20,597	20,603	+6
負債合計	15,359	15,680	+320
流動負債	11,852	12,193	+340
固定負債	3,506	3,487	△19
純資産	26,212	26,184	△28
負債・純資産合計	41,572	41,865	+292
現金及び預金	4,509	4,687	+177
自己資本比率	63.1%	62.5%	△0.6pt

< 主な増減要因 >

「資産の部」

- 受取手形及び売掛金 △392
- 原材料及び貯蔵品 +726 ※1

「負債の部」

- 未払法人税等 △266
- 買掛金 +858 ※2

「純資産の部」

- その他有価証券
評価差額金 +140
- 利益剰余金 △165 ※3

※1. 夏季の繁忙期に向けて原材料等を積み増したため。
 ※2. 在庫を積み増したため。
 ※3. 親会社株主に帰属する四半期純損失の計上。

損益計算書（連結）

（単位：百万円）	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	11,753	12,058	+304	+2.6%
売上総利益	2,567	2,098	△468	△18.3%
売上総利益率	21.8%	17.4%	△4.4pt	
販売費及び一般管理費	2,065	2,196	+130	6.3%
営業利益 又は営業損失（△）	501	△97	△599	—
営業利益率	4.3%	△0.8%	△5.1pt	
営業外収益	51	42	△8	△16.1%
営業外費用	14	19	+5	35.7%
経常利益 又は経常損失（△）	538	△73	△612	—
経常利益率	4.6%	△0.6%	△5.2pt	
特別利益	—	75	+75	—
特別損失	—	0	+0	—
当期純利益 又は当期純損失（△） ※	366	△14	△381	—

※親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）

業績予想に対する進捗（連結）

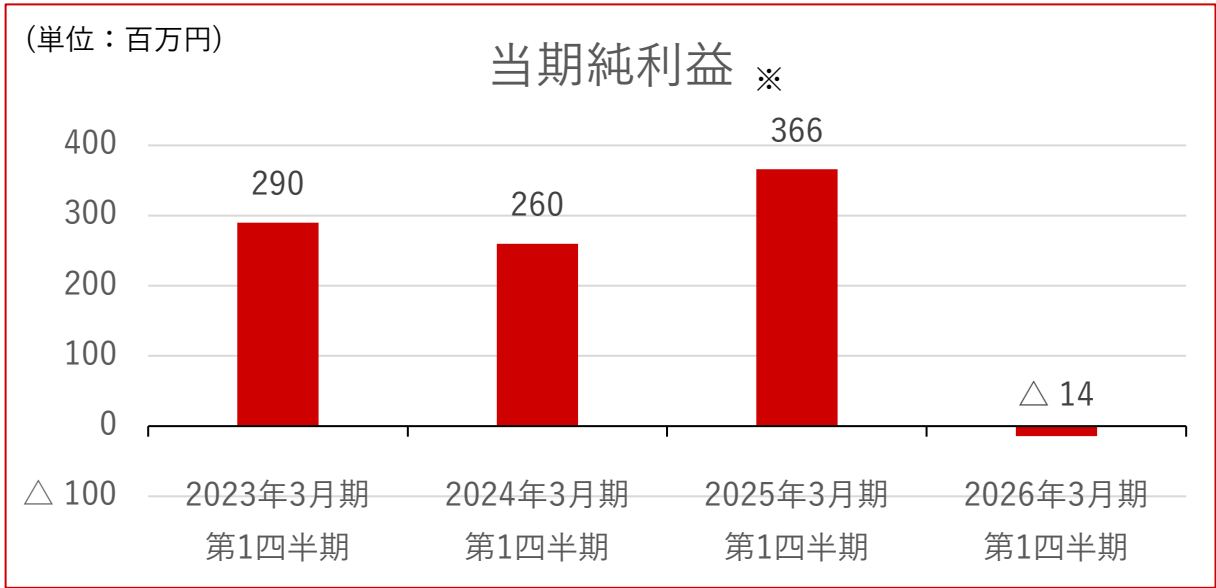
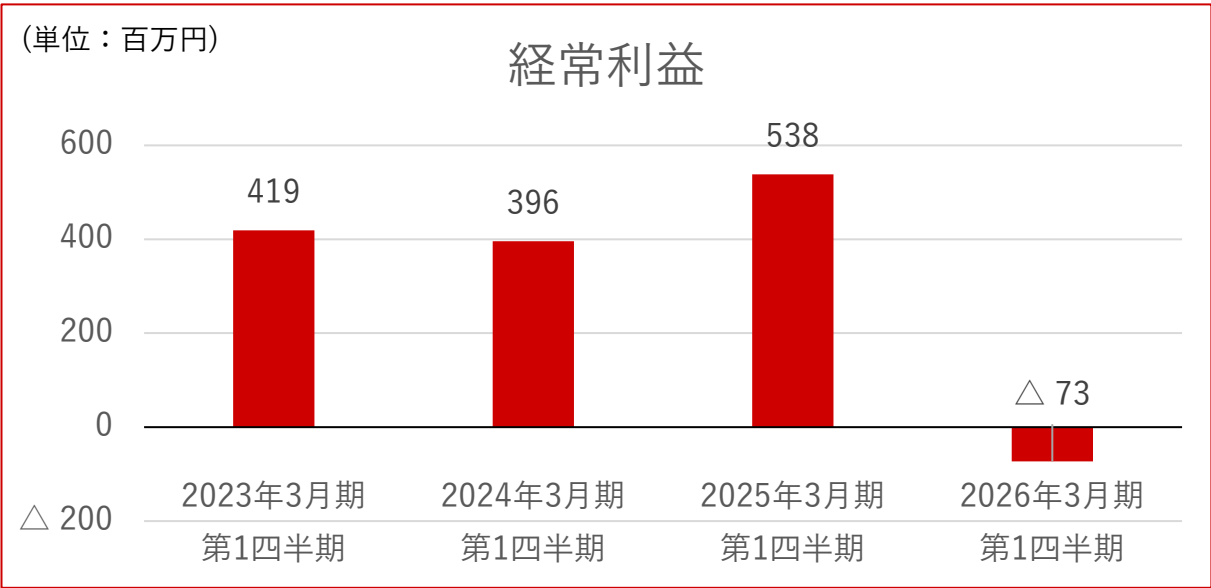
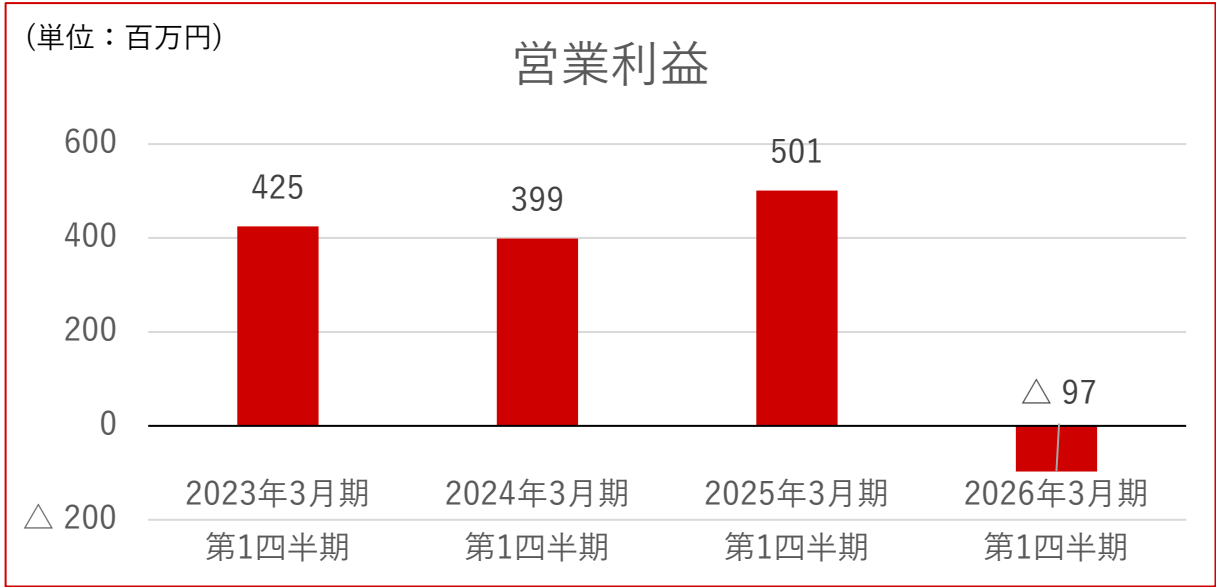
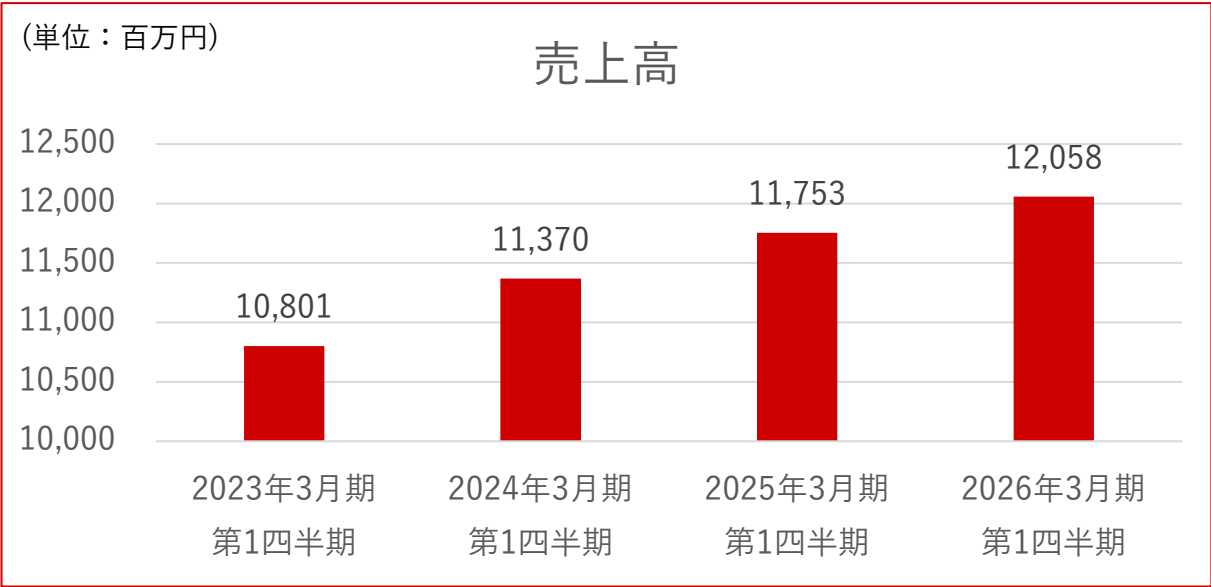
（単位：百万円）	2026年3月期 通期 業績予想	2026年3月期 第1四半期 実績	進捗率
売上高	50,000	12,058	24.1%
営業利益 又は 営業損失（△）	1,800	△97	—
経常利益 又は 経常損失（△）	1,830	△73	—
当期純利益 又は 当期純損失（△） ※	1,270	△14	—

※親会社株主に帰属する四半期純利益 又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）

（ご参考）業績予想の対前期増減

（単位：百万円）	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期 業績予想	増減額	増減率
売上高	48,892	50,000	+1,107	+2.3%
営業利益	1,968	1,800	△168	△8.6%
経常利益	2,025	1,830	△195	△9.6%
当期純利益 ※	1,352	1,270	△82	△6.1%

業績推移（連結）



※親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)

本資料に記載されている将来の見通しに関する事項は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記見通しとは異なる場合がございます。

本資料は当社の企業情報の提供を目的とするものであり、当社の株式の購入、売却等、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。